

日本人会クリニック 創立40周年記念

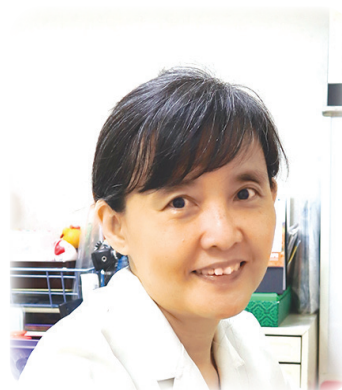


日本人会クリニックは創立40周年を迎えました。1985年創立から40年、たくさんのお客様や関係先様のご支援を賜り今日を迎えることができましたことに心より感謝を申し上げます。



クリニック入り口付近
左手に待合室があり、右側は受付カウンター

日本人会クリニック 医師の紹介



Dr Yap Ai Lin

We hope to be a true FAMILY clinic. We aim to treat all our patients like a family member, providing personal and kind treatment from the bottom of our heart. We will also offer a listening ear to all their health problems and hope to help them in the best way possible.

シンガポール医学協会会員、ポリクリニック家庭医、一般医
2001年9月より現職
好きな食べ物：ドリアン
好きなこと：趣味は読書と歌うこと！



厚生部理事 酒井 真一

ご挨拶

日本人会クリニック創立40周年を迎えられ、誠におめでとうございます。この日を迎えるに際して、長年に亘る日本人会クリニックの歴代スタッフのご努力により日本人会社会の方々の健康を支えてこられたことに、先ず以って深く敬意を表します。

思い返せば、40年前の日系クリニックの先駆けとなった開院以降、2003年のSARS、2020年の新型コロナウイルス(Covid-19)流行などを乗り越えて来られたのは、在星日本人一人ひとりに寄り添い、健康を支えようとするスタッフの皆様のご熱意と、クリニックに対する会員の皆様の厚い信頼感に基づくご愛顧によるものであります。そしてその事が在星日本人社会の発展に繋がっていると思います。

40年目の節目にクリニックをリニューアルオープン致しました。1階に移転して診療・検査の利便性を高めることを目指しています。また、リーズナブルな価格とパーソナライズされたサービスで、皆様をご支援して参りたいと考えています。

激変する世界情勢の中であって、新たな未来へ向かって一步を踏み出す大切な時期かと思えます。これからも今迄同様にクリニックと会員の皆様が一体となって、在星日本人の健康と安心を支える存在として邁進される事を期待します。そして更なる発展を遂げられると共に皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

厚生部理事 酒井 真一



仲山佑果
Dr Nakayama Yuka

リノベーションした快適で清潔なクリニックで、気持ちを新たに、初心を忘れることなく、これからの時代の変化に対応しながら、シンガポールという多様な社会の中で求められる医療を提供していきたいと考えています。患者さんに寄り添い、安心して通っていただけるクリニックを目指して、スタッフ一同、力を合わせて最善を尽くしてまいります。

シンガポール医学協会会員、プライマリケア学会会員、
日本耳鼻咽喉科学会認定専門医
好きなこと：ヨガ、コーヒーを飲むこと、料理



毛利由佳
Dr Mori Yuka

新しくなったクリニックにて、心療内科チームでは新たな検査の導入やより良い療育環境・リハビリ環境、カウンセリング環境を整え、お子様から高齢者まで、発達や心身の健康管理をサポートする体制をさらに強めて参ります。

また、内分泌関連疾患や生活習慣病への生活管理にも力を入れてまいります。

幅広い知識と豊富な経験を持った医師、公認心理師、臨床心理士、言語聴覚士、NST(栄養サポートチーム)経験者が常駐しており、カウンセリングやEMDR・CBTをはじめとした様々な心理療法、療育やペアレントトレーニング、嚥下指導や栄養指導を行っております。LPA(法定後見制度)を取得していますのでシンガポールでの後見人制度等をご利用になられたい方のご相談も可能です。お子様から高齢者に至るまでトータルサポートが可能です。

海外移住においては、日本とは異なり気軽に受診がしにくいことから、ご自身やご家族の健康管理等にご不安があるかと存じます。自分や家族の健康状態、海外での子育て、持病管理や健康管理等、心身に関わるご不安がございましたら、お気軽にご相談ください。

シンガポール医学協会会員、日本医師会認定産業医、公認心理師、日本精神科学会会員、日本産業衛生学会会員
好きな食べ物：フルーツ、刺身
趣味：読書、アウトドア



薬局

日本人会クリニック 誕生秘話



1985年5月、日本人会にクリニックが設立されました。本クリニックは、1984年3月、日本の外務省・厚生省・労働省の指導の下に設立された(財)海外邦人医療基金(JOMF)の海外医療拠点第一号でした。5月17日橋本恕大使をお迎えし、開所式を行いました。JOMFはもともと(社)在外企業協会(JOMF)の発案で設立されたものです。日立造船の永田敬生社長がJOMFの会長を勤めていた折、海外駐在員とその家族の医療ケアの必要性を訴え、日本企業に協力を呼びかけ、JOMFを設立しました。

JOMFはアジア諸国に設立の可能性を調査しましたが、医師ライセンスの認可、運営母体、採算性など直面する課題が多々あり、こうした課題を解決できる見通しの立つ場所はシンガポールだけでした。シンガポールは経済オープン政策を掲げて、海外からの企業誘致に積極的でした。日本人用クリニックは日本人社会のインフラになると判断したと思われます。1980年代のシンガポール医師登録者リストには海外の認可大学医学部が掲載されており、東京大学と千葉大学が載っていました。

1980年当時既に、シンガポールの医療水準は国際レベルに達しており、ある意味現状で事足りていました。近隣諸国の日本人駐在員とその家族はシンガポールにやってきて健康診断を受けたり、病気の治療に当たっていました。また、日本人会にクリニックが設立される直前には他に日系の医療機関が日本人向けのクリニックを設立したこともあり、日本人会はクリニック設立に慎重でした。JOMFから建設費、医療機器一式、日本人医師の派遣手配など診療所設立に関わる費用を負担すると条件提示があり、日本人会はこの提示条件を説明し、アンケートを実施したところ、会員から賛同が得られ、診療所設立の運びになりました。

クリニックが設立されるにあたって、日本人医師のライセンスを申請し、条件付きライセンス(Conditional Licence)を取得しました。日本人医師は認められたクリニック内で日本人の患者のみを診察できるという条件付きライセンスです。医師免許は国によって状況が違いますが、自国の医師を優先します。JOMFはインドネシア、マレーシアに提携医療機関を作って日本人医師を派遣しましたが、地元医師に助言はできるが、直接日本人の患者を診察できないという条件付きでした。シンガポールは医師ライセンスに対しても例外的に寛容で、幸いでした。日本人医師は当初、承認枠が15人でしたが、現在は30人に拡大されていると思います。私が事務局長の任にあった時、当時のコー・ブンワン保健相から直接ご連絡を頂き、日本人医師の承認枠を30人、歯医者承認枠を15人に増やすとお伝え頂きました。医師のライセンスは日本とシンガポール両国の間で自由貿易協定が締結された際、相互乗り入れ協定として盛り込まれたと理解しています。

文責：杉野一夫(1987年～2014年日本人会事務局長)



左側に受付カウンターがあり、右側は薬局



広々としたクリニック入り口と受付カウンター



皆様のお越しをお待ちしております！



カウンセリング専用の待合室エリア



X線検査室



マンモグラム検査室



聴力検査室



X線検査の待合室



超音波検査室



日本人会クリニック
ウェブサイト

clinic@jas.org.sg (24時間)
TEL : 6469-6488 (受付時間)
 受付時間: 月・火曜 および 木・金曜
 9:00~12:00/14:00~17:00
 水曜 9:00~12:30
 土曜 8:30~14:00
 (日曜・祝日休み)

※上記以外にも検査室はございます。